

治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号 ロイクラトン麹町
電 話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664
ホームページ <https://zensuiren.org/>
お問い合わせ info@zensuiren.org
編集・発行 椿本和幸



二級河川気仙川水系川原川・川原川公園（陸前高田市）

岩手県と陸前高田市で整備を進めていた川原川と川原川公園について、令和3年4月17日にオープンとなりました。「川原川」は、陸前高田市の中心市街地を貫流し、古川沼を経て本川である気仙川と合流し広田湾に流れる流域面積11.72km²の二級河川です。東日本大震災津波により被災した川原川について、岩手県では「陸前高田市復興まちづくり計画」と足並みを揃え、人々が再び川に集まれるような水辺空間を創出すべく、「復興かわづくり」として「自然・文化・記憶の継承」にフォーカスした「川らしい川」の整備を陸前高田市などの関係機関及び地域の皆様方と一体となって取り組みました。みんなで作くり上げた川原川・川原川公園に、東日本大震災津波伝承館、奇跡の一本松ともども是非おこしください。

目次

令和3年防災功労者内閣総理大臣表彰について.....	2
令和3年度 中国地方治水大会.....	7

令和3年防災功労者内閣総理大臣表彰について

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室
 防災課災害対策室
 砂防部砂防計画課

防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として行われるものです。

今年は全体で6個人、38団体が受賞し、国土交通省水管理・国土保全局関係では、土砂災害防止活動、水防活動、緊急災害対策活動（TEC-FORCEによる被災自治体支援活動）に著しい功績があったとして、1個人、14団体が受賞されました。

(1) 土砂災害防止活動関係…1個人及び1団体

[防災思想の普及]

- ・一般財団法人総合初等教育研究所
 参与 北 俊夫 <埼玉県>
- ・河内地区自主防災会連合会 <広島県>

(2) 水防活動関係…10団体

[災害現場での顕著な防災活動]

(令和2年7月豪雨)

- ・大石田町消防団 <山形県>
- ・新庄市消防団 <山形県>
- ・飯田市消防団 <長野県>
- ・下呂市消防団 <岐阜県>
- ・球磨村消防団 <熊本県>
- ・人吉市消防団 <熊本県>
- ・八代市消防団 <熊本県>
- ・芦北町消防団 <熊本県>
- ・相良村消防団 <熊本県>
- ・伊佐市消防団 <鹿児島県>

(3) 緊急災害対策活動関係

(TEC-FORCEによる被災自治体支援活動)…3団体
 [災害現場での顕著な防災活動]

(令和2年7月豪雨、令和2年台風第10号)

- ・国土交通省 緊急災害対策派遣隊
- ・内閣府沖縄総合事務局 緊急災害対策派遣隊
- ・国立研究開発法人土木研究所
 緊急災害対策派遣隊

我が国は、地形、気象等の自然条件が厳しく、毎年のように豪雨や台風による洪水、土砂災害が全国各地で発生しています。

昨年は7月豪雨や台風第10号などにより甚大な被害が発生し、本年も令和3年7月1日からの大雨などにより尊い人命と多くの資産が失われております。

このような中、今回個人で受賞された北俊夫氏においては、学校教育で土砂災害防止教育を特別な教育として扱うのではなく、社会科や理科など普段の教科指導の中で確かな知識を身に付け、防災意識の向上を図ることの重要性を終始一貫して指摘するなど、土砂災害防止に関する防災教育の推進と発展に多大なる業績を上げられました。

また、団体におかれては、日頃より積み重ねた豊富な経験と長年培ってきた訓練成果を十分生かし、豪雨等の悪条件の下、我が身の危険を顧みず土砂災害防止活動、水防活動、災害対策活動を実施され、住民の人命の確保や被害の軽減、緊急排水活動等による被災地の早期復旧に向けた活動により多大なる貢献をされました。

受賞された皆様のご功績とご労苦に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

功 績 概 要

(1) 土砂災害防止活動関係

個人 [防災思想の普及]

氏 名	きた としお 北 俊夫
職 業	一般財団法人総合初等教育研究所 参与
功績の概要	<p>学校教育において、土砂災害防止教育を特別な教育として扱うのではなく、社会科や理科など普通の教科指導の中で確かな知識を身に付け、防災意識の向上を図ることの重要性を終始一貫して指摘するなど、土砂災害防止に関する防災教育の推進と発展に多大な業績をあげてきた。</p> <p>平成20年改訂の学習指導要領に基づく解説の作成に当たって、小学5年の学習内容として土砂災害に関する理解が深まるよう注力した。これを受け、平成23年度から使用された小学5年生用教科書では編集代表者として、土砂災害に関する基礎的知識をはじめ、実際の土砂災害や砂防ダム、ハザードマップ等の写真や前触れについてのイラストを掲載し解説するなど、これまでにない内容構成の教科書を作成し、児童への土砂災害に関する知識の普及における大きなターニングポイントとなった。</p> <p>さらに、氏の尽力もあり、平成29年改訂の学習指導要領では土砂災害に関する指導内容が小学4年に拡充された。</p> <p>長年にわたり土砂災害防止に資する防災教育の普及に果たした氏の貢献は、非常に大きなものとなっている。</p>

団体 [防災思想の普及]

名 称	河内地区自主防災会連合会
所在地	広島県広島市佐伯区
代表者	杉田 精司
功績の概要	<p>平成11年6月29日に発生した豪雨災害について、この災害の経験と教訓を踏まえ、災害の記憶を残すとともに、地域における防災意識の向上を図るため、地域に密着し、自主的な防災活動を継続して行っている。</p> <p>「6.29豪雨災害」を風化させることなく、後世に伝承し、地域住民の土砂災害防止意識を醸成するため、毎年、追悼式と防災講演会を併せて「忘れまい6.29集会」として、平成11年から毎年、計22回を開催し、毎年150名程度が参加している。</p> <p>令和2年3月には、「6.29豪雨災害」をしっかりと記憶に留めるため、当時、地域住民が撮影した写真や動画、地域住民や学校の教諭、消防団員等の体験談を収録したDVD「6.29豪雨災害の記録」を制作した。</p> <p>地域住民の早期避難に繋がるよう、河内地区情報メールの導入や雨量計の設置、「避難行動タイムライン」の策定等に取り組むとともに、当該団体が中心となり民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会を始めとする災害時の避難支援関係団体・機関が相互に連携を図るため、他地区に先駆けて「河内地区防災ネットワーク」を立ち上げる等、様々な活動を行ってきた。</p> <p>地域独自の幅広い活動を推進しており、地域住民の土砂災害防止思想の普及に尽力している。</p>

(2) 水防活動関係

団体 [災害時の防災活動]

(令和2年7月豪雨)

名 称	大石田町消防団
所在地	山形県北村山郡大石田町
代表者	団長 早坂 和義
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、3日間にわたり、延べ708名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり水防活動にあたった。 内水氾濫を防ぐため、災害協定に基づき委託した地元建設業者とともに水中ポンプを合計9台設置し、水中ポンプや消防ポンプを使った内水排水作業を行った。また、月の輪工等の水防工法により漏水等による被害を未然に防いだ。 この他、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。
名 称	新庄市消防団
所在地	山形県新庄市
代表者	団長 浅井 一男
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、延べ201名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり排水活動と河川巡視を行った。 また、避難が済んでいない住民に対して戸別に訪問を行い、住民の避難誘導を行った。その結果一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。
名 称	飯田市消防団
所在地	長野県飯田市
代表者	団長 坂巻 剛弘
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、延べ733名の体制で、新型コロナウイルス感染症への対応を考慮しつつ、長期間の対応が可能となるよう時間交代制のシフトを組み、水防活動、災害処理活動、二次災害防止活動等を行い、計11日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。
名 称	下呂市消防団
所在地	岐阜県下呂市
代表者	団長 無笹 聡
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、河川の氾濫等の災害に対し、土のう積みによる民家への浸水防止、住民の避難誘導等に、延べ1,826名が出動し、降り続く豪雨による、土石流の発生や道路崩壊という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導を行い、一人として人的被害を出さず、平素の防災意識の高揚活動とあいまって、被害の軽減に多大な貢献をした。
名 称	芦北町消防団
所在地	熊本県葦北郡芦北町
代表者	団長 松崎 政司
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、延べ2,079名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計80日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	相良村消防団
所在地	熊本県球磨郡相良村
代表者	団長 田山 時徳
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、10日間にわたり、延べ634名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、土のう積み及び消防団小型ポンプによる内水の排水活動により浸水被害を未然に防ぐ活動を行った。</p> <p>この他、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害発生をさせなかった功績は多大である。</p> <p>また、被災後も、浸水した家屋の泥出し作業や田畑等の冠水処理、道路等の復旧作業、排土清掃作業を行った。</p>

名 称	球磨村消防団
所在地	熊本県球磨郡球磨村
代表者	団長 松野 三千夫
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、延べ871名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、自衛隊活動の支援、救助ヘリの補助、支援物資搬送、道路啓開等を行い、計26日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

名 称	人吉市消防団
所在地	熊本県人吉市
代表者	団長 赤池 栄祐
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、延べ920名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計21日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

名 称	八代市消防団
所在地	熊本県八代市
代表者	団長 山本 一樹
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、延べ1,936名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計72日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

名 称	伊佐市消防団
所在地	鹿児島県伊佐市
代表者	団長 蓑田 慎一
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、7日間にわたり、延べ726名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、河川敷近隣住宅の浸水を土嚢積みにより未然に防いだり、用水路越水による住宅浸水を小型ポンプでの排水により防いだ。</p> <p>この他、住民の避難誘導、避難補助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害をさせず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

(3) 緊急災害対策活動関係

団体 [災害時の防災活動]

(令和2年7月豪雨、令和2年台風第10号)

名 称	国土交通省緊急災害対策派遣隊
所在地	東京都千代田区
代表者	隊長 安部 宏紀
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、令和2年7月3日から8月31日の約2ヶ月にわたり、全国からのべ10,435名が出動し、排水ポンプ車による緊急排水により病院や住宅孤立等を早期に解消するとともに、自治体所管施設の被災状況調査を実施し、被害の全容把握、二次被害の防止、激甚災害指定の見込み公表の早期化等に貢献した。土砂の堆積状況の把握、撤去に向けた技術的支援、路面清掃車による粉塵除去等を実施するなど、被災地の復旧・復興に向けて多大なる貢献をした。</p> <p>また、令和2年台風第10号による災害に際し、台風が特別警報級の勢力で接近する中活動を開始した。活動終了までの約3週間にわたり、全国からのべ1,138名が出動し、被害リスクが大きな地方自治体におけるリエゾン活動や、排水ポンプ車の前進配備を行うとともに、被災状況の把握、二次災害防止のための技術的助言等を実施した。</p>
名 称	内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊
所在地	沖縄県那覇市
代表者	隊長 伊佐 真幸
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨及び令和2年台風第10号に際し、延べ147名の体制で、自治体所管施設（市道・村道）の被災状況調査の実施による、激甚災害指定の見込み公表の早期化など、計27日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>
名 称	国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊
所在地	茨城県つくば市
代表者	上席研究員 浅井 健一
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨及び令和2年台風第10号に際し、延べ32名の体制で、橋梁被災箇所、排水機場被災箇所、道路被災箇所、土砂災害発生個所に係る高度な技術指導を実施し、二次被害の防止や被災地の早期復旧に貢献するなど、計16日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

令和3年度 中国地方治水大会

と き：令和3年10月11日(月)
 ところ：WEB開催

令和3年度 中国地方治水大会			(敬称略)
開会宣言	山口県土木建築部長	和田 卓	
主催者挨拶	全国治水期成同盟会連合会会長	脇 雅史	
治水事業概要説明	「最近の河川行政を取り巻く情勢」		
	中国地方整備局 河川部長	高橋 政則	
意見発表	防府市長	池田 豊	
	長門市長	江原 達也	
大会決議	山口県土木協会 会長	井原 健太郎 (柳井市長)	
次期開催県挨拶	鳥取県県土整備部 河川課長	池田 典男	
閉会			

■開会宣言



山口県土木建築部長
和田 卓

本大会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑みまして、やむなくWebによる開催とさせていただきますが、本日は60を超える皆様にもご視聴いただいているところでございます。改めて感謝申し上げます。

それでは、これより令和3年度中国地方治水大会を開催させていただきます。

■主催者挨拶



全国治水期成同盟会連合会会長
脇 雅史

※挨拶は省略させていただきます。

■治水事業概要説明



中国地方整備局
河川部長
高橋 政則

※「最近の河川行政を取り巻く情勢」と題し、平成30年7月豪雨を踏まえた中国地方整備局の対応、「流域治水」への転換等についてご説明をいただきました。

■意見発表



防府市長
池田 豊

※河川浚渫事業の効果、佐波川改修事業の概要等について意見を発表していただきました。



長門市長
江原 達也

※まちづくりと一体となった魅力ある河川空間の利活用、大河内ダムの建設促進等について意見を発表していただきました。



国土交通省水管理・
国土保全局治水課長
佐々木 淑充

※2市長の意見発表に対し、コメントをいただきました。

■大会決議



山口県土木協会 会長
井原 健太郎
(柳井市長)

※事前に承認された以下の大会決議を読み上げていただきました。

治水事業は、国土を保全し、洪水等の被害から国民の生命と財産を守る根幹的な社会資本の整備であり、計画的かつ着実に実施することが重要である。

中国地方を中心に230名を超える尊い命が失われ、甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」や、全国規模で記録的な豪雨となった「令和2年7月豪雨」、さらに、静岡県で大規模な土砂災害が発生した今年7月の大雨や、前線の長期停滞により西日本を中心に広範な浸水被害をもたらした今年8月の大雨など、全国的にも大規模な災害が頻発しており、あらためて、災害に強い国土をつくり、住民の安全・安心を確保することの必要性を強く決意したところである。

こうした中、中国地方においては、治水施設の整備状況は依然として低い水準にあり、治水事業予算が大きく削減されていることは、地域住民が安全で安心して暮らせる生活の実現にとって、憂慮すべき事態である。

このため、激甚な災害が発生した地域への再度災害防止対策はもとより、災害を未然に防止・軽減するための事前防災対策も含めた、自然災害に対する安全度を向上させることにより、国土強靱化に資する対策を強力に推進し、地域における安全・安心な暮らしの確保・向上を図ることは重要かつ喫緊の課題である。

また、全国に比べ少子・高齢化が進む中国地方において社会全体で洪水氾濫に備えるためには、情報化の進展に対応した、水害等に対する迅速かつ的確な危機管理体制の強化を早急に図ることが必要であり、治水施設の整備等とともに、想定し得る最大クラスの洪水・高潮・津波を含めた、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保等、ハード・ソフト両面からの対応が急務となっている。

さらに、気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域全体で、あらゆる関係者が、主体的に治水に取り組む「流域治水」への転換を図り、これまで実施してきたハード・ソフト対策に加え、様々な手段を総動員し、それらを適切に組合せ、加速化させることによって効率的・効果的な安全性の向上を実現する必要がある。

加えて、高度成長期に整備された河川管理施設等の老朽化が今後急速に進むことを踏まえ、施設本来の機能を十分に発揮できるよう、適正な維持管理等による施設の長寿命化を図ることが、ますます重要となってきている。

一方、「川」は古くから地域住民の生活に深くかかわっており、地域に種々の恩恵を与え、その流域に独特の歴史や風土・文化を育んできたが、現在、人と水との関わり合いは希薄化しつつある。今一度、人と水との関わりを再構築し、自然と調和した健康な暮らしと、健全な河川環境の創出を推進していくことが重要である。

ここに、われわれは中国地方治水大会を開催し、その総意に基づき、「安全で安心して暮らせる地域づくり」を目指し、治水事業が強力かつ着実に推進されるよう、次の事項の実現について、国会並びに政

府に対し強く要望する。

一 災害から生命・財産を守る治水対策は、国としての基本的責務であることに鑑み、水害・土砂災害を未然に防止し、国民が等しく安全を享受するための国土強靱化に資する治水事業を中長期的な見通しのもと、計画的かつ着実に推進するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対象事業の拡大及び要件緩和を行い、当初予算においても別枠による予算を安定的・継続的に確保するなど、令和4年度以降についても治水事業予算の総枠確保・拡大を図ること。

また、今後想定される大規模災害に備え、地方自治体の財政負担を軽減し、対策の強化を図るため、地方債制度の継続や地方財政措置制度の拡充など、必要な財源措置を講ずること。

一 気候変動等に伴う水災害リスクの増大に備えるため、地方創生を支える予防的治水対策の根幹である河川やダム等の整備を強力に推進すること。また、局地的なゲリラ豪雨に対し、河川・下水道が一体となった市街地の集中豪雨対策を推進すること。

一 沿岸部の河川においては、台風時の高潮により浸水被害が頻発しているため、高潮堤防、水門、排水機場等の高潮対策を強力に推進すること。

一 東日本大震災を踏まえ、津波による被害の発生を防止し、または軽減するための津波観測体制の整備充実、河川津波遡上区間や低平地における堤防・水門等の耐震化等、総合的で効果的な津波対策を推進すること。

一 頻発する水害、土砂災害に対する早期復旧・復興を図るため、災害復旧及び再度災害防止を徹底するとともに、大規模災害への危機管理対応として、地方整備局が中心となって広域的・機動的な危機管理体制を充実させるなど、国が主体的な役割を積極的かつ強力に発揮すること。

一 粘り強い構造の堤防整備等の危機管理型ハード対策や主体的な避難を促す警戒・避難情報やリアルタイム情報の提供等住民目線のソフト対策

に加え、被害範囲を減らすための土地利用規制やハイリスクエリアからの移転促進等のまちづくり対策等を含め、流域全体で取り組む治水対策を示した「流域治水プロジェクト」を推進するための予算を確保すること。併せて、洪水予測の高度化や想定最大規模の降雨に対するソフト対策等への技術的支援を行うとともに、洪水時にリスクの高い危険箇所の早期整備や交付金対象範囲の拡大等の支援策を強力に推進すること。

一 老朽化が進む河川管理施設等について、計画的な点検、予防保全型の維持管理、施設の長寿命化対策など戦略的な維持管理・更新による既存施設の機能保全・強化を図ることが重要であり、公共施設等適正管理推進事業債の延長や交付金の対象範囲の拡大等の支援策を強力に推進すること。

一 河川や水辺の持つ多様で豊かな自然環境の保全と、地域の歴史、風土等に根ざした河川環境の形成を推進すること。また、地域住民による河川愛護活動を支援するとともに、まちづくりと一体となった魅力ある水辺空間を創造するための施策を充実すること。

以上 決議する。

令和3年10月11日
中国地方治水大会

次期開催県挨拶



鳥取県県土整備部
河川課長
池田 典男

※次期開催県を鳥取県に決定し、鳥取県県土整備部河川課長にご挨拶いただきました。